

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 新潟県見附市立今町中学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒954-0111
新潟県見附市今町4-1-7

E-mail imachu@mitsuke-ngt.ed.jp
Website http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~imachu/

幼児児童生徒数 男子 118名 女子 102名 合計 220名
幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

当校では「探求・敬愛・鍛錬」を教育目標とし、いろいろな活動を実践し、教育目標に近づけるように努力している。その活動の中には、地域伝統文化、環境学習、食に関する学習、防災などがある。ESDという新たな視点を通してこれらの活動を見直すとともにレベルアップを図りたいと考えている。

① 地域伝統文化に係わる活動 (大凧合戦への参加など)

地域の凧協会の指導を受け、江戸時代から伝わる6月の「見附今町・長岡中之島大凧合戦」に参加している。約8畳分の大きさの紙に中学生が絵を描き、地域の方と共に大凧を完成させる。凧合戦当日には、相手の凧と凧ひもを絡め合い、引っ張り合う「地がらめ」を体験した。

その他、白丁という今町伝統のお祭りに参加したり、地域連携フェスティバルで今町凧民謡などの伝統芸能を鑑賞したりして、伝統を守る心やそれらを継承していく大切さを学んでいる。

② 環境に係わる学習 (グリーンカーテンづくりなど)

毎年、夏季の教室環境改善のため、ゴーヤを用いたグリーンカーテンづくりに取り組んでいる。この取組により、グリーンカーテンによる室温の変化や日陰の涼しさを感じ取り、限りある資源を活用していくことの大切さを考える一助となっている。

また、環境委員が廊下に花を置いたり、ボランティアを募って校内の窓ふきを行ったり、新聞委員が掲示物の配置を工夫するなどして、校内や教室環境の美化に努めた。また、大風合戦後、土手清掃を行った。

③防災に係わる学習（地域の防災訓練参加など）

見附市では年に1回、市全域での防災訓練を行っている。生徒一人一人が住んでいる町内の防災訓練に参加し、中学生としての役割を果たしている。

また、防災訓練参加の後は、防災に関する講演会を実施している。講演会では、新聞紙でスリッパを作る等の体験もしている。

④食に係わる学習（栄養士による食の指導）

学校の栄養士さんから各学年2回ずつ食に関する指導をしてもらっている。また、月1回給食の時間の放送で食材についてのお話や給食残量調査も年2回実施し、食に関する興味関心を高めている。



①の写真



②の写真



③の写真



④の写真

(2) 活動の詳細

①活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育	

	(GCED)
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

特になし

②ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

<p>ユネスコスクールとしての活動である防災、環境教育、食育などは、指導計画のそれぞれの分野の中に位置づけている。校務分掌煮も位置づけており、活動内容・ねらいを示している。また、実施時に前年度の反省と生徒の実態を踏まえ、企画、実践を行っている。そして、生徒アンケートによるPDCAサイクルを取り入れ、更に充実した取組にしたいと考えている。</p>

- ③学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項1-4に対応

前年度の活動の内容や反省が確実に伝わるように文書の保存と引き継ぎを行っている。また、活動内容毎に、分担をしている。その一つとして、環境教育の一部は環境委員会の活動とするなど生徒会の委員会の活動として位置づけを行っている。また、定期的に活動のねらいや意義についてふれることで、主体的に活動につなげている。

- ④ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項1-5に対応

活動毎に生徒から感想等を書いてもらうとともに学期毎に行うアンケートの中に位置づけている。その結果、郷土への愛、朝食を必ず食べる等では成果を上げている。(90%以上の生徒が肯定的評価をしている。)しかし、エコや植物への世話については課題がある。(エコに関しては69%、植物の世話では75%の生徒が肯定的評価をしている。)

- ⑤ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項2-2に対応

ESDの推進拠点として、他校との交流活動やPR活動は行っていない。しかし、活動毎に前年度の反省を生かすとともに生徒の実態を踏まえ、企画、実践を行う。そして、その結果を各種たよりやホームページで紹介をしている。

- ⑥学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（200字程度）

※チェック事項2-3に対応

大凧合戦に関わる活動では、地域の大凧協会の方からの大凧の製作仕方
や大凧の揚げ方等を指導してもらっている。防災訓練では、実際に地域毎
の訓練に参加するとともに、地域の消防署の方からの講演をしてもらって
いる。また、文化祭の活動の一部ではコミュニティースクールの方から企
画運営を行ってもらっている。

- ⑦国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項2-4に対応

特に行っていない。

- ⑧ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）
内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保
護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項2-5に対応

大凧に関わる活動や防災に関わる活動などで地域の方との交流を行って
いる。その成果として、住んでいる今町に対しての郷土愛が高くなったと
考えている。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

例年の活動を継続していく。

4月 クリーン作戦参加

6月 大風合戦に関わる活動、地域の防災訓練参加

食育に関する指導(年2回)、グリーンカーテンの設置、花苗の植え替え等を行っていく。

次年度は、新たな活動として①エコに関する活動を行う。②評価の仕方の工夫を行う予定である。また、ユネスコスクールガイドラインを年度初めに、全職員で確認を行う。